

二年学年だより

No. 5

8月号

令和5年7月発行

2年学年付き

私の好きな言葉は、「人の一生は重荷を負うて遠き道を行くがごとし。急ぐべからず。」である。これは徳川家康の遺訓である。若い頃は山登りを趣味としていた。日本百名山を上ることを目標として、北海道から九州まで全国いろいろなところに登りに行った。長野県の北アルプスは山が高く深くテントや食糧を背負って3、4日かかることも多い。重い荷物を背負って一步一步登っているうちに先の遺訓が自然と好きになっていったように思う。家康は最後は江戸幕府を開くという大きなことを成し遂げた。できることやすべきことを少しずつ着実にこなしていくことが大事だと思う。(2年学年付き)

1. 高校生活、色々とストレスを抱えることも多いと思います。



2. 私も日々色々ストレスを感じています。(例えば昨日)



3. そんな私のストレス解消法はズバリ「ランニング」です。



私が走ることに目覚めたのは中学生の頃。かれこれ30年以上走っています。走ると嫌なことやストレスが汗とともに出ていってくれるような気がします。中学生の頃も色々な悩みを走って流していました。

4. みなさんもストレスを感じてしんどくなったとき、何でもいいので自分の好きなことをして自分を癒してあげてください!



(2年学年付き)

1-7試合終了のサイレンが鳴り、私が指導していた高校は負けてしまった。甲子園まであと一勝だった。大会の2週間前、3年生エースが練習試合で肘を壊して投げられなくなり、先発投手に抜擢されたのは2年生だった。決勝戦を投げ抜いた後、彼はインタビューで「先輩たちに申し訳なかった。自分のためだけでなくチームを勝たせるために、この1年は命を懸けるつもりで練習する。」と言った。その野球部を指導していても一つ心に残った出来事がある。車で帰宅している途中、3年生の野球部のマネージャー2人が街中のごみを拾いながら歩いて帰っていた。翌朝なぜそんなことをしていたのかと聞くと「試合が始まったら私たちができることはありません。今ごみ拾いをしてツキを呼び寄せることくらいしかできないんです。」正直自分よりできた人間だと思った。自分のために何かしらを頑張ろうと思っても言い訳が先に出てきてしまい、できない・やらない人は多い。人のために頑張ることは一見難しいように思えるが、逃げ場がなく、やる気の源泉となる。よくスポーツ選手が「ファンの方々のために〜」「普段から支えてくださっているの方々のために〜」とインタビューで言っているのはそういうことだ。

松山中央高校2年生はどれだけ他人のために頑張れているだろうか。

(2年学年付き)